

私たちの町内会 vol.26

町中町内会

会員数 70世帯

会長
若生 勝昭さん



町中町内会はしんまち通りを囲む町三区の中央に位置し、前身の町内会を含めると発足が明治43年頃と、非常に歴史ある町内会です。

しんまち通りは内ヶ崎酒造店や富谷宿をはじめ現在も風情ある建物が多く、富谷の歴史を感じるすることができます。住んでいる方々も昔からの顔なじみが多く、人が通れば声を掛け合い、道端で何気ない話をするなどとても雰囲気がいいことが我が町内会の自慢です。

年間を通して防災訓練や祭り、敬老会等の行事を行っているほか、独自の取り組みとして花の植え付けを行っており、約30年に渡り全家庭に配布しています。主に会場となる町中会館は平成24年に新しく建物が完成し、毎月交代で掃除を行っているっており、利用者の方にも非常にきれいに利用していただいています。

そのほか、最近では古民家を利用したカフェのオープンや、町や企業が主体となって行うイベントの会場になるなど、地区以外の方が訪れる機会も多いので、町内会として地区の魅力を発信したり、協力してイベントを盛り上げています。

また、内ヶ崎作三郎（帝国議会衆議院副議長）や内ヶ崎賛五郎（東北電力初代社長）、菅野千代夫（河北新報社長）といった当地区出身の著名人が多く、建物や記録など資料が多数残っているため、それらを披露する場を設けたいと町内会で検討しています。

少子高齢化や建造物の維持管理など課題もありますが、行政と連携しながら伝統ある町内会を、これからも継続してつくりあげていきたいと思っています。